

ゴールドタワーの製作と建方

Construction of GOLD TOWER

川田工業株・四国工場

1. まえがき

本四連絡橋が完成する昭和63年3月に、架橋地点である香川県宇多津町に日本一高いマリンタワーが建設中であるので紹介する。

2. 工事概要

工 事 名：(仮称) ゴールドタワー新築工事
 施 主：ゴールドタワー(株)
 施 工：三井建設(株) 大阪支店
 竣 工：昭和63年3月
 高 さ： 144m
 鋼 重：1,450ton
 施 工 区 分：1～5節 川田工業(株)
 6～11節 (株)横河橋梁製作所
 施 工 範 囲：製作, 鍛冶, デッキプレート, 現場塗装

3. 鉄骨フレーム

タワーの平面基本グリッドは一辺が6.75mの正三角形であり、このモジュールを組み合わせ、一辺が13.5mの正三角形を二つ合わせた菱形平面を持つ144mの直線的に伸びる鉄骨造りの展望タワーである。柱は基部が700φ×60mm厚(SM50B)の鋼管であり11節までを現場溶接で継いでいる。塔の中身は105mの中空部となっており、地上130mの高さの展望室までは両側のシーサル・エレベータで昇り、瀬戸大橋が一望できる様になっている。

4. 建 方

建方は各節が10日のサイクルで計画され、内訳が建方を3日、本締めを3日、現場溶接及び塗装のタッチアップを3日、クレーンのクライミングを1日と全てがクリティカルパスの工程となっている。足場取付け、階段、キャットウォーク取付も重複し、現場は工程管理が非常に重要となっている。昭和63年4月には皆様もタワーの上より瀬戸大橋のながめを楽しめるものと思います。

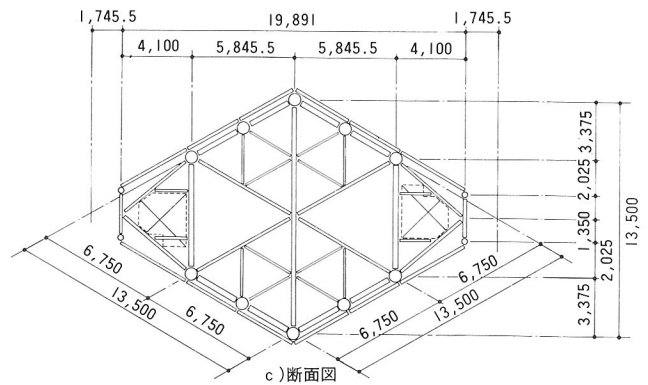
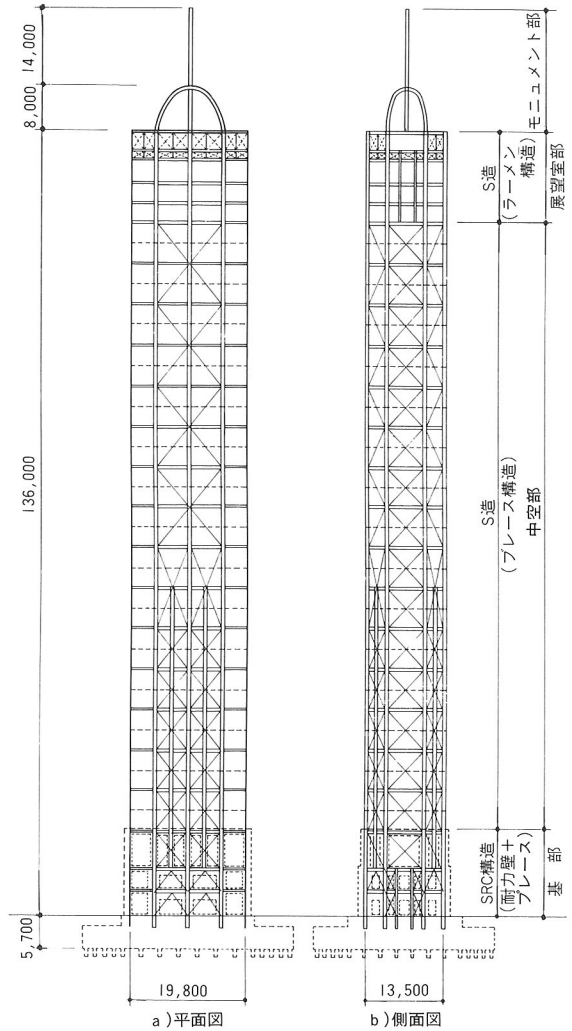


図-1 全体一般図

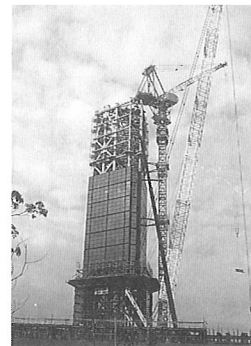


写真-1 5節建方完了時

(文責・近藤秀範)